

# 120歳通信 2015年1月号

(617分の28号) 15.01.31

発行元 444 - 0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36

G & G 吉見典生

0564 - 62 - 8144 Fax0564 - 62 - 9696

E - mail [papi@tms21.jp](mailto:papi@tms21.jp) [papi-pero@i.softbank.jp](mailto:papi-pero@i.softbank.jp)

## 第3回125歳宣言の集い 大成功



1月25日山梨県北杜市で125歳宣言の集いが開かれた。食事療法の面から船瀬俊介先生、笑いヨガの面から橋元慶男先生のお話から、参加者全員125歳まで生きられる自信がついたようだ。最高齢の大久保忠男先生はこの日が85歳のお誕生日でサプライズのお誕生日パーティーを開いた。大久保先生にはあと40回この集いでお誕生日パーティーを開くことを約した。大久保先生曰く「あっという間に125まで行きそう」と。来年の125歳宣言の集いは岡崎で開催し、幹事は山本孝太郎さんをお願いします。講師として、橋元慶男先生、次々号で紹介

する渡邊浩さん、ゲストとしてメアリー田所さんをお呼びするつもりです。

## 抗がん剤を暴く 自らの体験から

船瀬俊介氏は「抗がん剤治療をしなければ日本のほとんどの病院は潰れる」というようなことをいわれた。これが本当であると思う。癌を克服して10年以上経った。再発予防として、月に1度病院へ行って温熱療法のハイパーサーミアを受けていた。ハイパーサーミアそのものはガン予防にはとてもいいことは知っているのだが、保険がきかないため、ペラボーに高い。2年ぐらい前から医師が「薄い抗がん剤を打てばハイパーサーミアは無料にする」と提案したので、それに従うことにした。ただし、わたしは看護師に、「点滴の前に密かに洗面台に流してしまえば」と要求した。看護師は、罪になるということで、拒否した。それで、半分くらいで捨ててしまうことで話が付いて、このやり方で、1年以上やってきた。高齢者のため医療費は1割であるから2千円で済む。抗がん剤なしなら、ハイパーサーミア代が2万円請求される。だから抗がん剤を打てば病院側も患者側も得するわけである。去年の9月ごろだったが、MRIで小さなガンが発見された。そこで目標を持って、DVD『癌患者と家族のための笑いヨガ』を今までよりもさらに真剣に実行するようにして、今年の1月15日の膀胱鏡検査では、「完璧」にガンゼロであった。昨日ハイパーサーミアを受けに行った。薄い抗がん剤も点滴された。しかしはからずも、抗がん剤を点滴している最中に、眠ってしまった。全部体に注入してしまった。帰宅しても気分が悪く、早々と寝てしまった。今朝起きてもまだ気分が悪い。仕事が溜まっているが、やる気が起こらない。抗がん剤は精神まで蝕んでしまうような気がする。いつも前向きなこの老人が、もうどうでもいいわい、と思うようになってしまっている。去年の「再発」はひょっとしたら抗がん剤のせいではないかと思ってしまう。こんなことはもうこれきりにしようと思う。今から一所懸命笑いヨガをやって、元気を取り戻し、会社へ行こう。そして、次に病院へ行ったら、抗がん剤は断固拒否して、ハイパーサーミアだけにしてもらおうことにする。高くついても構わん。わははははのはっ！

